

GEPGDCG:EPG

PN - JP60213092 A 19851025
PD - 1985-10-25
PR - JP19840069349 19840406
OPD - 1984-04-06
TI - METHOD OF MOUNTING COVER
IN - HASHIMO SHIYOUICHI
PA - MATSUSHITA ELECTRIC IND CO LTD
IC - H05K5/03 ; H05K7/14

GKPI:DERVST

TI - Mounting method for cover of printed circuit board - has projection formed on edge of board, flexible member fixed next to projection and holes for positioning and holding NoAbstract Dwg 5-6/6
PR - JP19840069349 19840406
PN - JP60213092 A 19851025 DW198549 005pp
PA - (MATU) MATSUSHITA ELEC IND CO LTD
IC - H05K5/03 ;H05K7/14
OPD - 1984-04-06
AN - 1985-306989 [49]

THIS PAGE BLANK (USPTO)

⑨ 日本国特許庁(JP)

⑩ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報(A)

昭60-213092

⑤ Int. Cl.⁴

H 05 K 5/03
7/14

識別記号

庁内整理番号

6679-5F
6428-5F

③ 公開 昭和60年(1985)10月25日

審査請求 未請求 発明の数 1 (全 3頁)

④ 発明の名称 カバー取付方法

⑪ 特 願 昭59-69349

② 出 願 昭59(1984)4月6日

⑦ 発 明 者 羽 下 正 一 門真市大字門真1006番地 松下電器産業株式会社内

⑧ 出 願 人 松下電器産業株式会社 門真市大字門真1006番地

④ 代 理 人 弁理士 中尾 敏男 外1名

明 細 書

1、発明の名称

カバー取付方法

2、特許請求の範囲

1 個または複数個の突起を有したプリント基板に、可とう性の材料よりなる部材を1 個または複数個取付け、そのプリント基板を覆うカバーに上記突起に対応する孔を明け、この孔を上記プリント基板の突起と嵌合させることにより上記カバーとそのプリント基板の位置決めをし、かつ可とう性の部材を孔に挿入後曲折することによりカバーを固定することを特徴とするカバー取付方法。

3、発明の詳細な説明

産業上の利用分野

本発明は電気機器分野等に用いられるカバーを基板等に固定するためのカバー取付方法に関するものである。

従来例の構成とその問題点

従来よりプリント基板の導通部を絶縁するためのカバーを基板等に固定する取付方法としては、

接着剤や溶着による方法またはカバーに設けた爪を基板に差込む方法がとられていた。

以下、図面を参照しながら上記のような従来のカバー取付方法について説明する。

第1 図および第2 図は従来のカバー取付方法の内、接着剤や溶着による方法を示すものである。

第3 図および第4 図は従来のカバー取付方法の内、カバーに設けた爪をプリント基板に差し込み固定する方法を示すものである。

第1 図、第2 図において1 はプリント基板、2 はカバー、3 は別のプリント基板、1 a はプリント基板1 に設けられた突起、2 a はプリント基板1 の突起1 a に挿入される位置決め用の孔、3 a はプリント基板1 の別の突起1 b を差込むための別のプリント基板3 に設けられた位置決め用の突起、A は接着剤や溶着代である。

しかしながら、上記のような取付方法ではカバーの取外しが難しく、また接着剤や溶着代が不均一になったりしてカバーの固定強度が一定にならなかったり、さらには接着剤の飛散による美観や

安全性の上での問題を有していた。

一方、第3図および第4図の場合において、4はプリント基板、5はカバー、6は別のプリント基板、6aはカバー5に設けられた爪、6bは別のプリント基板6に設けられた孔、6cは別のプリント基板6に設けられたプリント基板4の位置決め用の突起4aを差込むための別の孔である。

しかしながら、上記のような取付方法ではカバーの爪を別のプリント基板に差込む方法のため、差込む際、爪を破損することにより再生が不可能になったり、または取外しを差込み方向と反対側に出ている爪を起して行うことによるサービス性の悪さ等の欠点を有していた。

発明の目的

本発明は上記欠点に鑑みなされたものであり、取外しが容易で、固定強度が一定に保たれることのできるカバーの取付方法を提供しようとするものである。

発明の構成

この目的を達成するために本発明のカバー取付

方法は、プリント基板に固定された可とう性を有する部材とカバーに設けられた孔から構成されることを特徴とし、かつこの構成によって孔に通した可とう性を有する部材を曲折することによりカバーを固定しようとするものであり、これによりカバーの取外しに際しては可とう性を有する部材の曲折を戻すことにより行うことができると共に固定強度を一定に保つことができることとなる。

実施例の説明

以下、本発明の一実施例について図面を参照しながら説明する。

第5図および第6図は本発明の一実施例におけるカバーとプリント基板の可とう性を有する部材すなわち関係を示すものである。

第5図および第6図において、7はプリント基板、8はそのプリント基板7を覆うカバー、9はプリント基板7に固定された可とう性の材料よりなる部材、10は上記プリント基板7を固定する別のプリント基板、8aはカバー8に複数個設けられた位置決め用の孔、8bは同じくカバー8に

設けられた上記部材9挿入用の孔、7aはカバー8に設けられた位置決め用の孔8aへ挿入される突起を示し、この突起7aは上記プリント基板7の上面側に複数個設けられている。7bはプリント基板7の下面側に設けられた突起で、この突起7bは別のプリント基板10に設けられた位置決め用の孔10aに挿入される。そして、上記部材9はカバー8の孔8bに挿入された後、曲折することによりプリント基板7を覆ったカバー8は別のプリント基板10に固定される。

以上のように構成された固定の方法を用いることにより、部材9の曲折を解除すればカバー8が簡単に取外しできると共に固定強度が一定に保たれるという本実施例の特有の効果を生むことができる。ここで、部材9とそれに対応する孔8bは1個とは限らなく、また突起7aは1個でもよいものである。

発明の効果

以上のように本発明は構成されているものであり、プリント基板に設けた部材とカバーに設けら

れた挿入用の孔により、カバーの取外しが簡単で固定強度を一定に保つことができ、その実用的効果は大なるものがある。

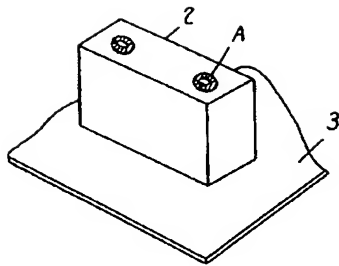
4、図面の簡単な説明

第1図は従来例のカバー取付方法を示す斜視図、第2図は同分解斜視図、第3図は他の従来例のカバー取付方法を示す斜視図、第4図は同分解斜視図、第5図は本発明におけるカバー取付方法の一実施例を示す斜視図、第6図は同分解斜視図である。

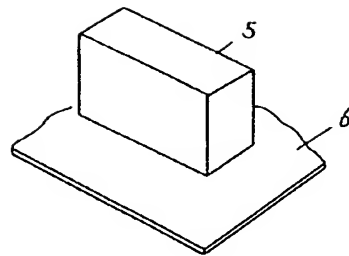
7……プリント基板、7a……突起、8……カバー、8b……突起、9……可とう性を有する部材。

代理人の氏名 弁理士 中 尾 敏 男 ほか1名

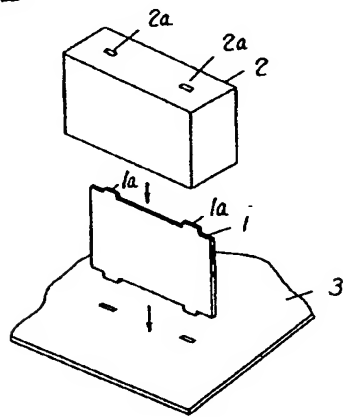
第 1 図



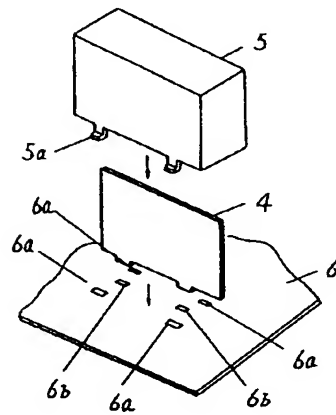
第 3 図



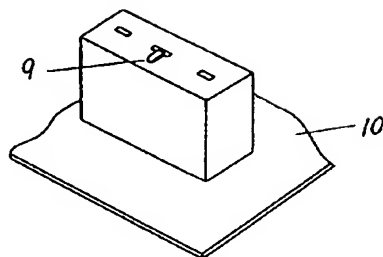
第 2 図



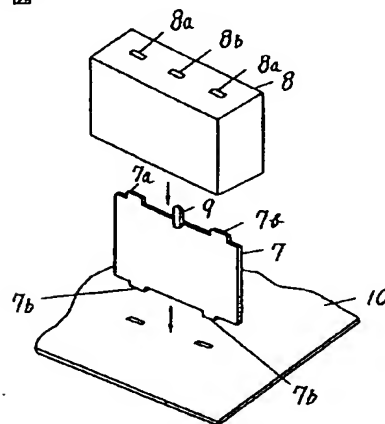
第 4 図



第 5 図



第 6 図



THIS PAGE BLANK (USPTO)